

令和 8 年 7 月 13 日

関係機関長および関係各位

京都大学自然科学域防災学系長
(防災研究所長)

渦岡 良介

教員の公募について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とした組織であり、平成 22 年度より、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、京都大学では、教員は教員組織としての学系に所属し、部局は教育研究組織と位置づけられています。

敬具

記

1. 職 種： 教授
2. 募集人員： 1 名
3. 所 属： 京都大学自然科学域防災学系
4. 勤務場所： 京都大学防災研究所 総合防災研究グループ 巨大災害研究センター
災害リスクマネジメント研究領域
(所在地：宇治市五ヶ庄)

大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等

5. 職務内容：

来るべき巨大災害による被害を対象として、被害の最小化と迅速な社会回復を実現する総合減災システムの構築を目指す研究を推進する。具体的には、災害の発生前から緊急期、そして復旧・復興期に至る長期的な視点に立って、総合的な災害リスクマネジメント、および災害に対する社会のガバナンスの在り方に関する研究を理論的かつ実践的に推進する。また、大学院工学研究科都市社会工学専攻の教育を担当する予定である。

6. 資 格 等：

博士の学位を有すること。
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えることが望ましい。

7. 採用予定日：

選考後、可能な限り早い時期

8. **任 期：** なし
9. **試用期間：** あり（6ヶ月）
10. **勤務形態：**
- ・専門業務型裁量労働制を選択した場合は、1日7時間45分相当、週38時間45分相当
 - ・専門業務型裁量労働制を選択しない場合は、週5日 8:30～17:15 勤務（休憩 12:00～13:00）
 - ・超過勤務を命じる場合あり
 - ・休日：土・日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始、創立記念日
11. **給与・手当等：** 本学支給基準に基づき支給
12. **社会保険：** 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、及び労災保険に加入
13. **応募方法：**
- 次の(1)～(6) 各一式の書類を封入の上封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書し、書類提出先へ書留扱いにて郵送、または持参してください。電子メールやインターネットを通じた申請は受理いたしません。
- (1) 履歴書
 - (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに分けしたもの）
 - (3) 主要論文別刷（コピー可）5編以内
 - (4) 研究業績の概要（A4用紙2ページ以内）
 - (5) 今後の研究計画及び抱負（A4用紙2ページ以内（説明図の利用可）。これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
 - (6) 2名からの推薦書（推薦書に代えて、応募者について意見を伺える方の氏名と連絡先でも可）
14. **書類提出先：**
- 〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
巨大災害研究センター 災害リスクマネジメント領域 教授候補者選考調査委員会 宛
15. **応募締切：** 令和8年10月13日（火）17時【必着】
16. **選考方法：** 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。
17. **問い合わせ先：**
- 巨大災害研究センター 災害リスクマネジメント領域 教授候補者選考調査委員会 宛
e-mail: apply_staff[at] dpri.kyoto-u.ac.jp （‘at’を@に置き換えてください）
（電子メールに限ります）
18. **その他：**
- (1) 応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。
 - (2) 京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。本学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に

基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。

- (3) 研究業績の評価に関しては、出産・育児・介護等で研究活動を休止した期間（ブランク期間）の影響を考慮します。ブランク期間がある場合は、研究業績一覧の最後に記載してください。
- (4) 京都大学では、すべてのキャンパスにおいて屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。
- (5) 10. および11. の詳細は下記 web ページ「国立大学法人京都大学就業規則一覧」をご覧ください。<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/organization/kisoku/kichiran.html>

巨大災害研究センターの概要

1. 研究目的及び研究内容の概要

巨大災害研究センターは、巨大災害による被害の軽減に関する研究を、自然科学と社会科学を融合した視点から進めています。これは、近年の巨大災害が、自然のハザードに起因する直接被害のみならず、人生や生活の破壊、地域文化に対する打撃、経済被害など、間接被害をも甚大化させている点、すなわち、巨大災害が人間社会を破壊する点を踏まえたものです。

こうした視点にたって設置された巨大災害研究センターは、巨大災害過程研究領域、災害情報システム研究領域、災害リスクマネジメント研究領域、国際情報ネットワーク研究領域（外国人客員）、歴史災害史料解析研究領域（客員）、地域災害研究領域（客員）、以上6つの研究領域を有し、総合的、学際的、かつ長期的な視点に立った防災・減災研究を推進しています。

巨大災害過程研究領域

本研究領域の研究テーマは、「総合減災システムの確立と実践的防災学の構築」です。安全・安心な社会を実現するために、巨大災害による被害を軽減するための研究を、社会科学・自然科学を融合して行っています。特に、社会科学（社会心理学を中心として）の立場から、災害情報、防災教育、災害文化のあり方を提案し、真に「実践的な」防災学とは何かを探っています。

災害情報システム研究領域

社会現象としての災害学理の究明と、効果的な防災の実現を目標としています。とくに、災害発生後の社会の対応を情報処理過程としてとらえて、効果的な災害対応を可能にするための社会のしくみの構築・情報システムの開発を目指して、災害時の人間の心理過程や行動の理解、防災担当組織の効果的な対応、地域社会全体の災害からの立ち直り（レジリエンス）という3つの領域で実証的に研究しています。

災害リスクマネジメント研究領域

本研究領域は、巨大災害がもたらす被害の軽減を理工学と社会科学が協同して取り組むべき研究課題としてとらえ、そのための研究をリスクマネジメントの観点から行っています。また、この研究課題を、都市や地域、国土などの総合的なリスクマネジメントの一環と位置づけ、学際融合的かつ国際的な研究領域として発展させることを目的として多角的な研究を推進しています。

このほかに、下記の2つの客員領域と1つの外国人客員領域があり、上記の3研究領域でカバーできない研究領域を有機的に補完する活動を担っています。

歴史災害史料解析研究領域（客員）

地域災害研究領域（客員）

国際災害情報ネットワーク研究領域（外国人客員）

2. 現在の教員構成（2026年7月1日現在）

	【教授】	【准教授】	【助教】
巨大災害過程研究領域	矢守 克也	中野 元太	（空席） VAICIULYTE Sandra *
災害情報システム研究領域	畑山 満則 土佐 尚子 （特定）	廣井 慧	—
災害リスクマネジメント研究領域	（今回公募）	松田 曜子	—
国際災害情報ネットワーク研究領域	—	（空席）	—
歴史災害史料解析研究領域	神田 佑亮 （客員）	城下 英行 （客員）	—
地域災害研究領域	（空席）	諏訪 博彦 （客員）	—

*：複数所属（地震災害研究センター地震情報研究領域）

なお、当研究センターは、社会防災研究部門とともに総合防災グループを構成し、社会が切望する核心的な防災ニーズを発見し、それを学際的体制と複合融合的研究アプローチを通じて解決する実践的研究を推進しています。詳しくは、京都大学防災研究所のホームページ <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp> をご参照下さい。

共同利用・共同研究拠点について

防災研究所は、大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用し、共同研究を行う全国共同利用研究所として、共同利用や共同研究を推進してきました。平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

**Professor Position in the Research Section of Disaster Risk Management, Disaster
Prevention Research Institute, Kyoto University**

July 13, 2026

The Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for a permanent Professor position.

Location: Research Center for Disaster Reduction Systems, Integrated Arts and Sciences for Disaster Reduction Research Group, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan (at home or other places if University allows or orders to work remotely).

Job description and required qualifications:

The appointed professor is required to conduct research related to integrated disaster risk management system that minimizes damage caused by huge disasters expected to occur in the near future and enables rapid societal recovery. The candidate is also required to carry out theoretical and practical research on integrated disaster risk management and the appropriate forms of social governance for disaster response from a long-term perspective, encompassing preparedness, emergency response, recovery, and reconstruction phases. Additionally, the candidate will be responsible for educating students in the Department of Urban Management at the Graduate School of Engineering, Kyoto University. A Ph.D. or an equivalent degree is required, and the candidate is expected to be able to use Japanese on a daily basis.

Anticipated start date: As soon as possible after the selection.

Probation period: 6 months

Working time: Discretionary labor system (standard working hours: 7 hours 45 minutes per day, 38 hours 45 minutes per week). If the discretionary labor system is not chosen the working hours are from 8:30 to 17:15 with a break between 12:00 to 13:00. Overtime may be ordered. Days off: Saturdays, Sundays, Statutory holidays under the Act on National Holidays, Year-end and New Year's holidays, and Anniversary of Foundation of the University.

Salary and Allowance: To be determined in accordance with Kyoto University regulations.

Social insurance: (1) National Public Service Mutual Aid Associations, (2) Employee's pension insurance, (3) Unemployment insurance, and (4) Worker's accident insurance

Applicants should prepare the following materials:

- (1) Curriculum vitae
- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of up to five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to two A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to two A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letters from two references (a recommendation letter may be substituted by the name and contact information of a reference, including the postal address, and e-mail address)

The complete application package must arrive by the deadline of 17:00 JST, October 13, 2026 at the following address:

Selection Committee for Disaster Risk Management Professor
Administrative Office, Uji Campus,
Kyoto University
Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

Applicants must send the package by registered mail or direct submission. Applicants are not allowed to submit it by e-mail or through internet.

For inquiries, you can send e-mail to `apply_staff 'at' dpri.kyoto-u.ac.jp` (replace 'at' with @)

For more information about DPRI, see <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/en/>.

Additional notes

- (1) The university will not return your application documents.
Personal information contained in the application documents will be used solely for the purpose of screening applicants and never for any other purposes.
- (2) Kyoto University is building a culturally diverse faculty and strongly encourages applications regardless of gender or disability.
The university is an Equal Opportunity, Affirmative Action Employer.
- (3) With regard to the evaluation of research achievements, the impact of periods of interruption in research activities due to childbirth, childcare, nursing care, etc. (blank periods) will be taken into consideration. If there are blank periods, please indicate them at the end of the list of publications.
- (4) The university prohibits smoking in all campus buildings except in designated outside smoking areas for the purpose of preventing the adverse health effects of second-hand smoke.

Current staff (as of July 1, 2026)

Research Section	Professor	Associate Professor	Assistant Professor
Integrated Disaster Reduction Systems	YAMORI Katsuya HATAYAMA	NAKANO Genta	vacant VAICIULYTE Sandra (MC)
Disaster Information Systems	Michinori TOSA Naoko (PS)	HIROI Kei	—
Disaster Risk Management	<i>this recruitment</i>	MATSUDA Yoko	—
International Disaster Information Network	—	vacant	—
Historical Disaster Analysis	KANDA Yusuke (VP)	SHIROSHITA Hideyuki (VAP)	—
Regional Disaster Studies	vacant	SUWA Hirohiko (VAP)	—

Note PS: Program Specific, VP: Visiting Professor, VAP: Visiting Associate Professor, MC: Multiple Concurrent Positions